

## 令和4年9月定例教育委員会会議録

1. 日 時 令和4年9月29日（木）午後2時30分～午後4時37分
2. 場 所 市役所新館4階 第1委員会室
3. 出席者  
教育長 大下 達哉 教育長職務代理者 植原 和彦 委 員 谷口 馨  
委 員 野口 和江 委 員 和田 郁美
4. 事務局出席者  
教育総務部長 藤浪 秀樹／学校教育部長 片山 繁一／生涯学習部長 牟田 親也  
総務課長 井上 慎二／学校適正配置推進課長 池内 正彰／学校給食課長 濱崎 賢治  
学校管理課長 樋口 泰城／産業高校学務課長 田中 幸博／学校教育課長 松本 秀規  
生涯学習課長 井出 英明／スポーツ振興課長 庄司 彰義  
郷土文化課長 西村 久美子／図書館長 橋本 純／総務課参事 石井 良和  
総務課主幹 柿花 真紀子

### 開会 午後2時30分

前回会議録について承認された。本会議録署名者に植原教育長職務代理者を指名した。  
傍聴人0名。

### ○大下教育長

ただいまから、9月定例教育委員会会議を開催します。

報告に入る前に、非公開の決定ですが、本日の案件のうち、議案第40号は本日協議した後、政策調整会議、政策決定会議を経て市として意思決定する内容となっており、意思決定過程段階にあること、議案第41号は人事案件であること、以上のことから「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第14条第7項の規定により両議案については非公開としたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(教育委員、賛同)

非公開への賛同がございましたので、そのように取り扱います。

### 報告第62号 令和5年度 市立幼稚園の3歳児申込み状況について

#### ○大下教育長

報告第62号について、説明をお願いします。

**○井上総務課長**

報告第 62 号につきましては、令和 5 年度 市立幼稚園の 3 歳児申込み状況についてです。

令和 5 年度も市立幼稚園 10 園で実施します 3 歳児の申込みにつきまして、願書の受付を、令和 4 年 9 月 14 日（水）、15 日（木）の 2 日間で行いました。

施設ごとの申込み受付の状況は、受付時のものでご覧のとおりです。令和元年度から 10 園での実施となって以降応募者数は減少していますが、減少幅は縮小してきています。

今年度は一番多い園が常盤幼稚園で 25 名でしたので、募集定員を上回った園はないことから、抽選は実施しません。また、10 月 4 日（火）から、受け入れ枠の残っている園で随時募集を行います。なお、4、5 歳児の募集は 10 月 4 日、5 日です。資料として、過去の 3 歳児の受付状況をつけています。

**○大下教育長**

説明が終わりました。本件について、何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。

**○野口委員**

朝陽幼稚園の申込者数が大きく減っていますが、何か原因はあるのでしょうか。今まで 10 名を切ったことはなかったかと思います。

**○井上総務課長**

幼稚園応募者数の年度間の増減については、特段の理由があるということではないと思っています。市内の 3 歳児の人口は、昨年より少し減っている状況です。

**○大下教育長**

保育所の定員枠の増加により、幼稚園申込数が減少していることはありますか。

**○井上総務課長**

可能性として考えられますが、幼稚園希望者は保育が必要ではない 1 号枠申込となり保育所希望者とは枠がわけられていますので、関連は大きくはないように思います。私立幼稚園や今年度からの市立幼稚園の通園区を外したことによる影響は多少なりともあるかもしれません。来年度の就園希望調査を行いますので、調査結果から朝陽校区の園児が他の校区に行かれているといった動向が見えてくるかもしれません。

**○和田委員**

園児数が 7 名というのは、少人数の園ということで、保育などは縦割りで運営されるのでしょうか。

**○井上総務課長**

クラスは、3 歳児のクラス、4・5 歳児混合のクラスで編成されており、保育内容として、同じ年の園児同士で行うフレンド保育、異年齢児混合で行うファミリー保育を実施しています。

**○大下教育長**

他にいかがでしょうか。ないようですので、報告として承りました。

**報告第 63 号 絵本「ゆうびんです！」の寄贈について**

**○大下教育長**

報告第 63 号について、説明をお願いします。

**○松本学校教育課長**

報告 63 号につきましては、絵本「ゆうびんです！」の寄贈についてです。

寄贈品名は絵本「ゆうびんです！」で 47 冊、換算額は 62,040 円です。寄贈目的は、幼稚園・小学校での情操教育に使用のためで、市内幼稚園・小学校に 1 冊ずつ寄贈いただきました。寄贈者は、東京都港区の日本郵便オフィスサポート株式会社の代表取締役社長福本様で、寄贈年月日は令和 4 年 8 月 4 日です。寄贈品の写真は別紙のとおりです。

#### ○大下教育長

本件について、何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。

ないようですので、報告として承りました。

### 報告第 64 号 令和 4 年度 全国学力・学習状況調査及び大阪府小学生すくすくウォッチ、岸和田市学力調査の結果について

#### ○大下教育長

報告第 64 号について、説明をお願いします。

#### ○松本学校教育課長

報告第 64 号につきましては、令和 4 年度 全国学力・学習状況調査及び大阪府小学生すくすくウォッチ、岸和田市学力調査の結果についてです。

令和 4 年度全国学力・学習状況調査及び大阪府小学生すくすくウォッチ、岸和田市学力調査の結果について、市民に対して説明責任を果たすとともに、本年度の結果を踏まえての改善についてのポイントを明確にし、学力向上を推進するものです。また、岸和田市学力調査についても、同様に結果の分析を行い、課題を明らかにしたうえで授業改善に活かしてまいります。

本年度より、より一層見やすくわかりやすいように、形式を変更いたしました。報告内容は web サイトに掲載し、本市の学力の状況等についてお知らせいたします。

まず、全国学力・学習状況調査のご報告です。

「調査の概要」「調査結果の概要」はご覧の通りとなっております。

次に、詳細ですが、生徒質問紙から抜粋して調査結果を記載しております。

調査結果の概要にもお示ししていますが、児童生徒の質問紙調査では、教員への肯定的な感情や自分たちが主体的に授業に参加していると感じている児童生徒の割合の向上がみられ、学校の取組の成果が見て取れます。

次に右半分をご覧ください。『各教科の平均正答率について』ですが、いずれの教科においても全国の平均正答率と比べて低く、厳しい状況が続いています。岸和田市としての経年比較ですが、昨年度、一昨年度とほぼ変わらず、現状維持ということになります。子ども達の解答状況からの課題を小中学校・教科別に掲載しております。

各学校では、かねてより児童生徒に確かな学力がつく授業をめざして、日々授業の改善に努めているところですが、学力の定着については依然として大きな課題があると認識しています。

引き続き、各学校では問題解決的・探究的な学びを通して理解を深めたり、対話を通して自分の考えをまとめたり、日常生活や社会と関連付け、様々な場面で活用したりする学習を積み重ねる必要があると考えます。

続いて、下段の『正答率 40%以下の児童生徒の割合について』でございます。全国の値を 1 とした時の岸和田市の割合を経年で示しております。

小学校算数、中学校数学・理科では、全国に比べて高い割合であるものの改善傾向が見られました。一方、小学校理科、中学校国語では増加しました。特に、中学校国語は増加傾向にあります。言語能力については、国語の授業はもちろん、すべての教科の授業で育成を図るよう学校に対し指導・助言を進めています。

また、学習内容の定着に向けては、放課後学習支援事業（まなびサポート）を小学校で、学びの土台づくり推進事業（コグトレ）を幼稚園・小中学校で引き続き実施するとともに、学習支援員を全小中学校に配置し、学習内容の定着に課題のある児童生徒へのきめ細かな支援を実施してまいります。

裏面をご覧ください。これも質問紙調査の結果概要の抜粋です。

特に右半分真ん中、「普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか。」という質問が新設され、「4時間以上」と回答した児童生徒の割合が全国の約2倍となっています。またその下、「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。」という質問では、「全くしない」と答えた児童生徒の割合は小学校では全国の約3倍以上、中学生では約2倍以上となっています。SNSや動画視聴が、家庭学習の時間を圧迫していることが伺えます。児童生徒の学習習慣の定着に向けて、家庭とともに取り組んでいく必要があります。

次に大阪府小学生すくすくウォッチについての概要でございます。

昨年度より大阪府が開始したものです。

「調査の概要」「調査結果の概要」はご覧の通りとなっております。

5・6年生の「わくわく問題（教科横断型問題）」では、教科の結果と同様です。府の正答率を下回ってはいますが、対府比では昨年度から0.05ポイント上回る結果となりました。

5年生の国語、算数の平均正答率は、対府比では昨年度から変化が見られませんでした。また、理科の平均正答率は、対府比で昨年度から0.05ポイント上回り、改善傾向が見られました。しかし、いずれの教科も府の平均正答率を下回っています。

明らかになった課題の改善のために、各教科等で基礎的な言語能力の定着や情報活用能力の育成に取り組んでまいります。特に「わくわく問題」で問われているすべての教科や活動などで必要な力の育成に向けては、総合的な学習の時間の充実や各教科間の学習内容のつながりなどを意識した授業づくりに努めます。

非認知能力として府が定義した「未来に向かう力」と探究活動の原動力となる「好奇心」についてですが、岸和田の子ども達の全体の傾向として、「人とかかわる力」のうち特に「共感する力」が他の力に比べて高いという結果が出ています。一方、「目標に向かって頑張る力」のうちの「ぶれない心」や「気持ちをコントロールする力」のうちの「落ち着き」が他に比べて低い傾向であるという結果でした。

裏面をご覧ください。岸和田市学力調査についての概要でございます。

「調査の概要」「調査結果の概要」はご覧の通りとなっております。

3・4年生ともに、全国平均得点率は昨年度よりも下回る結果となりました。また、昨年度と同一学年の市平均得点率を比較すると、一部の項目では前年を上回るものもありましたが、全体的に若干下回る結果でした。特に国語の「書く」力、算数の「図形」の力は依然として課題となっています。言語能力や数量・図形感覚は、発達段階に応じて段階的に育てていくもの

です。この結果を、今後の指導に生かして習熟に努めるとともに、授業改善をさらに進めてまいります。

**○大下教育長**

本件について、何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。

**○植原教育長職務代理者**

大阪府ではなく、全国と比較をしたというのはどのような理由でしょうか。

**○松本学校教育課長**

全国学力・学習状況調査については、全国実施されていることから、全国比較としました。なお、府平均はほぼ全国平均に近づいてきている状況です。

**○和田委員**

全国学力・学習状況調査結果の正答率40%以下の児童生徒の割合のグラフは、経年変化の数値変化がより分かるよう、横線を入れるなどして表現いただいた方がよいかと思います。

「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。」を見ると、中学生は3時間以上勉強している子が、国より多いです。しかし市全体の学力が低いというのは、勉強をしていない子が多いということでしょうか。もしくは勉強をしている子も学力が低いということでしょうか。

**○松本学校教育課長**

岸和田市の学力は、現状2極化しています。学力が高い子は非常に高い学力を持っています。

**○和田委員**

中学3年生に対する調査ですので、受験勉強ということで勉強時間が多いこともあるかもしれません。となれば、中学1・2年生の状況が気になります。

**○松本学校教育課長**

おっしゃるように、中学3年生は受験勉強に取り組むことから、1・2年生と比較して時間が多いことはあります。

**○植原教育長職務代理者**

2年生は府のチャレンジテストがあります。2年生も勉強をしていると言えませんか。

**○大下教育長**

府のチャレンジテストは、一人ひとりの内申の積み上げを結果とするので、自分のテスト結果が自分に直接返ってこない形です。3年生の受験勉強の方がより力が入るということはあるかもしれません。

**○松本学校教育課長**

府のチャレンジテストは、個人の成績が影響するのではなく、学校単位での成績が影響してきますので、直接受験につながってという意識が子ども達にはあまりないのかもしれない。

**○和田委員**

すすくウオッチの結果で「ぶれない心」が低いのは、自信が持てないという子が多いのかなと考えたりします。学校からいただいた学力に関する手紙にも「児童の全体として素直ではあるが受け身な部分が多い」「自信をつけるためにもたくさん褒めてあげて下さい」と記載がされていました。そういった事も「ぶれない心」に関わってきているのかと思います。

**○松本学校教育課長**

おっしゃる通りで、文科省は「主体的・対話的で深い学び」を進めるようにしていますが、そういった点も影響があるかと思います。自分の思いを言語にすることが大切な中、岸和田市の子ども達はその点が弱いということが結果から読み取れます。

#### ○和田委員

親自身も褒めるということがうまくできていないのかもしれないですね。

#### ○植原教育長職務代理者

全国学力・学習状況調査結果に「引き続き…学習を積み重ねて」と記載がありますが、学力が向上してきているという結果が出ていませんし、「引き続き」と表現するのに違和感があります。また「探求的な学び」という表現も保護者に理解されるでしょうか。公表されるのであれば工夫がいると思います。

#### ○片山学校教育部長

「引き続き」としましたのは、昨年度の結果からも自分の考えをまとめたりする力が弱いという課題があり、その状況が続いていることに関し引き続き取組が必要との思いで入れました。今年度の結果に対しどうしていくかということが伝わるよう、記載を検討したいと思います。

#### ○植原教育長職務代理者

保護者にもイメージしてもらえる表現が必要です。学力が上がっていないのに「引き続き同じことをする」と捉えられてもいけないと思います。

#### ○大下教育長

「むしろ一層の努力が必要である」といった表現が分かりやすいかもしれません。「探求的な学び」についても分かりやすい表現とできないかと合わせ、再考をお願いします。

#### ○野口委員

全国学力・学習状況調査結果の正答率40%以下の児童生徒の割合のグラフ縦軸の目盛の1.3や2.3という数値はどういう意味でしょうか。

#### ○片山学校教育部長

国を1とした場合の市の割合を示しており、岸和田市の数値が1.3から2.3の間で推移しているということを示しています。

#### ○大下教育長

和田委員の最初のご発言も合わせると、各棒グラフに数値を入れそれらを線でつなぐと、より分かりやすくなるかもしれません。

#### ○片山学校教育部長

グラフについては再度分かりやすい表記に修正をして、公表いたします。

グラフから読み取れますのは、理科や算数などが国との比較では改善が見られていますが、国語が未だなかなか改善に至っておらず、どの教科においても必要となる問題を読み解く言語能力の部分で改善することが必要であるということです。

#### ○植原教育長職務代理者

得点分布グラフはどのような状況ですか。

#### ○片山学校教育部長

国と比較してもそれほどいびつな形とはなっていませんが、国よりは左側の山が高く右側の山が低い状況です。左側の山をもう少し右側に持っていけないかと思います。

**○植原教育長職務代理者**

他市へ転校した子どもから聞いたのですが、岸和田市の小学校の方が宿題の量が随分少ないということがあるようです。

**○大下教育長**

宿題の量の違いというのは、家庭での学習習慣が身につけていないので、量を多くすると消化できないということがあるのでしょうか。

**○松本学校教育課長**

宿題については特段分析はしていませんが、学校ごとの差もあるところですよ。一方で宿題が多いというご意見もあります。

**○大下教育長**

地域によって差もあり、例えば都会の学校では塾へ行っている子が多いことから、学校の宿題の量は抑えているという現場もあると聞いたことがあります。

私も含め、自戒の念を込めてなのですが、この結果に慣れてしまっはいけないと思います。正答率が全国と比較して10ポイントから15ポイント下であるというのは、非常に深刻な問題です。それが毎年続いていますので、また昨年と一緒かと思ってしまうがちですが、実はそれは大変なことですよ。スタートラインで岸和田市の子はハンデを背負っているということになりますので、我々はしっかりと受け止めなければなりません。また正答率が40%以下の児童生徒となりますと、授業を行っていても理解できていない児童生徒が多いということですよ。山滝小学校でありました授業の研究発表では、子ども達による「主体的・対話的で深い学び」が実践された大変素晴らしい授業でしたが、そういうメニューを実践することが正答率40%以下の子ども達の成績を上げることにつながるのでしょうか。あるいは正答率40%以下の子ども達に対応する特別なメニューがいるのでしょうか。

**○松本学校教育課長**

正答率40%以下の児童生徒の割合は、資料にある直近3年間より前から状況が変わっておらず、その事実も認識しなければならないと思います。彼らへは「主体的・対話的で深い学び」となる授業以外にもまた別の取組が必要であると思っています。

**○大下教育長**

コグトレはこのような調査結果を受けてスタートした事業ですよ。まなびサポート事業でも、この点に着目をした事業展開をする必要があるかもしれません。

**○松本学校教育課長**

まなびサポート事業は来年度で5年目になり、見直す時期に来ています。その層の子ども達をフォローすることが課題ですよ。ピンポイントでどう支えていくかがなかなか実践につながられていません。

**○植原教育長職務代理者**

そのような層の子ども達は「主体的・対話的で深い学び」や「問題解決的・探究的な学び」を実践できるのでしょうか。またそれにより力をつけることができるのでしょうか。

**○片山学校教育部長**

自分の持っている力で、他の友達と意見交換をしながら自分の考えを磨いていくという経験により、力をつけることができると考えます。他の子との比較では、状況はさまざまかもしれ

ませんが、その個人の中の学びが無駄になるということは決してないと思います。

#### ○植原教育長職務代理者

徹底的に苦手科目の基礎基本を定着させれば、指導要領にある「主体的・対話的で深い学び」にもさらに積極的に取り組めるのではとったりもします。

#### ○片山学校教育部長

他者との意見交換を質的に高いものにしようとするならば、基礎基本の定着は大切な要素だと考えます。

今回の分析結果で、小学校の算数ではオレンジジュースが半分に減れば濃度も減ると答えている子が半数以上いました。塩水が半分に減っても塩辛さは変わりません。割合の本来の意味が分かりきれていない、実生活に結び付いていないということが分かりました。理科で言えば、実験器具の名称が半分の子は分かっていない。実験の場で名称を声に出して教師側が説明するといったことで基礎を押さえ、それらの積み上げも合わせてやったうえで、子ども達どうしが相互に話をすることが大切だと考えます。

#### ○大下教育長

大変厳しい学力の子ども達が進学する高校では、九九もできないということもあり、最初に学び直しを行うと聞きました。能力別にクラス分けがなされていない義務教育の場では、普段の授業での対応は難しいと思います。それ以外の取組で正答率40パーセント以下の子ども達をどう引き上げていくかということで、例えば学びサポートに重点を置いて展開していくことがいいかと思います。

#### ○植原教育長職務代理者

予算をつけて様々な施策を実践されていると思います。先生方も随分努力されているかと思えます。効果が出ているところを教えてください。

#### ○松本学校教育課長

すくすくウォッチに関しましては、昨年と比較し総合的に若干、上がっています。

#### ○片山学校教育部長

施策効果で一番説得力があるのは平均正答率かと思いますが、現状なかなか正答率は上がってきていません。施策効果としては子どもの反応や子どもへのアンケート結果などで示しているところです。

#### ○谷口委員

1500人という調査数は信頼性のある数であると思います。教科の好き嫌いについては、教えてくれる先生によっての影響も受けているように思います。どの先生も熱心に取り組まれています。子どもに響く教え方となっていなければ結果は伴ってきません。「意見を聞いてくれる」「相談したい」と思える先生かどうかということが、分析をすれば成績に結び付いている可能性もあると思います。授業改善や日常生活改善に関しては、さらに踏み込んだ分析も必要かと思えます。

#### ○大下教育長

市議会でも、朝食の喫食率と家でのテレビゲームの時間は学校の成績とは正の相関関係があると考えるので、家庭との連携が不可欠であるとお答えしました。データでそれらを示せるといいですね。



### ○谷口委員

昨年度、スマホを全く触っていない子より多少触っている子の方が成績が良いという結果が出ていました。子どもへのストレスなども考えると、一律禁止するというのではなく、適度な利用をとった発信の工夫もいるかと思います。

### ○大下教育長

大人になれば自己規制できるところも、子どもには制限をかける必要がありますが、すべてを禁止してしまうということではないと思います。

成績は、全国的に向上が見られる場合は、国との差が開いていないならば、当市も同様に追いついている、向上していると見ることもできます。

### ○野口委員

小学校3・4年生の結果が全国比で1割位落ちているという状況です。また、中学3年生の結果も別の調査で出ています。小学校2年生から3年生にかけては教科内容も変わってきますし、子ども達の勉強に対する思いも変わってくる頃です。この差を抱えたまま上までいきますから、中学生3年生となりどうしても差が開いてくると感じました。

低学年から3年生までの基礎を学ぶところで、子ども達にせめて全国並みの力をつけてあげるためにはどうしたらいいのかと。今ほど授業時数が多くなかった時代は、勉強をとりこぼしてしまう子達を、先生方は教室に残し徹底してわかるようになるまで個別に教える余裕がありました。今は3年生の授業時数も高学年と変わりませんし、先生方も授業以外で丁寧に子ども達に手当をする時間がないと思います。ここでうまく流れに乗れなかった子はずっとハンデを抱えたまま上まで行くのだらうと思います。結果をみると、いわゆる言語能力のようなものがきちんとすべての子に定着させられておらず、そのハンデがずっと上までいつているのではないかと思います。結果をみて、かなりショックでした。そのためにどうしたらいいかですが、学びサポートや先生方の宿題への配慮など色々あると思いますが、授業の中でやるしかない中で、どんな子も一定のところまでは確実に習得できるような授業の改善を、特に低学年から中学年の3年生のあたりまでで、真剣に考えていただけないかなと思います。

先生方にとっては本当に厳しい時代です。昔は子どもを教室に残して指導をしたとしても、保護者からのクレームもありませんでしたし、辺りが暗くなるぐらいまで残しても登下校にさほど危険もありませんでした。今の先生が授業の中だけでとされるのは厳しいと思いますが、学校全体としての覚悟とか、先生方の努力とか、そこをお願いするしかないのかもしれないのですが、この結果から教育委員会としても先生方にしっかりと伝えて欲しいと思います。全国学習状況調査は中学3年生、小学6年生だけです。現場にいた頃は、該当学年の先生の問題という感じで、下の学年を持っている先生にはあまりピンと来ていなかったようでした。しかし、3・4年生の結果を見ますと、これは学校全体で捉えないといけないのではないかと思います。

### ○松本学校教育課長

現場の先生方に対しては、校長を通じて継続して発信をしています。現場の先生方に学力結果に対する意識を高めてもらうためどのような発信をしていくかが私どもの課題であると思っています。低学年のつまずきにより中学生になっても力がついていない例が多くあります。コグトレが低学年に有効であるというのも見えてきていますので、その取組も継続しつつ、先生方に対しての発信も引き続き続けていきます。

○和田委員

まなびサポートにこの子達が参加してくれるかどうかですね。

○松本学校教育課長

学校の先生へは必要な子には受けさせてもらうようにと発信をしていますが、デリケートな部分もあります。

○植原教育長職務代理者

学習指導要領に沿い、全国一律に3年間学習している中でこういった差がつくのは何が違うのかと思います。先生方も一生懸命されています。

○松本学校教育課長

先生方も頑張っているとのこと発言もいただきましたが、結果に出ているように、子ども達に対して魅力的な授業が出来ていないというのも事実であるので受け止めるべきかと思っております。

○谷口委員

全国一律にしても全員が同じようにやっているかということそうでもなく、重要なのは自己肯定感、自分史上最高の自分であったなど実感できるかということになると思います。昨年40点であった人が次の年は45点になったということであればそこを評価していかねばいけないと思います。全員がV字回復したとしても次の年に落ちているという例もあります。テクニクに走った結果上がったということではなく、徐々に上がっていかないといけないが、上がっていかないということに問題があると思います。授業改善を一生懸命やっているのだけれども結果が出てないということであれば、先生方にはそこはもう一回見直してもらい、そして優れた授業をしている先生がいればその授業を見学し学んでもらう、専門職の方はどうしても人と比較されるのを嫌がりますし、人のやり方を参考とせず自身のやり方や理屈で進めようとするところもあります。そこは子ども達から圧倒的に支持を受けていたり、成績を伸ばすことができている先生の教え方を皆で勉強する必要があると思います。

○松本学校教育課長

教育重点施策においても、学力と生徒指導の部分を両輪で取り組むとし、自己肯定感を高めたいこうとしています。学力だけではなく、子どもたちの心の安定も大切です。3・4年生においては学校生活において色々なトラブルや事案が多発していますので、そういった取組も必要であると思います。

○大下教育長

今回の協議内容については、校長会等あらゆるところで共有いただくようにもお願いします。他にございませんでしょうか。ないようですので、報告として承りました。

報告第 65 号 令和 4 年度 岸和田市中学校総合体育大会について

○大下教育長

報告第 65 号について、説明をお願いします。

○松本学校教育課長

報告第 65 号につきましては、令和 4 年度 岸和田市中学校総合体育大会についてです。

日時は、令和 4 年 7 月 27 日（水）～8 月 22 日（月）でソフトボールは令和 4 年 11 月 12 日

(土)で実施予定です。場所は各種目、ご覧の通りです。各種目の結果は別紙の通りです。  
昨年度はコロナ禍の中で変則的なスケジュールとなりましたが、今年度は本期間内で実施することができました。

**○大下教育長**

本件について、何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。

**○野口委員**

この暑さの中で頑張っている生徒さん達には敬意を表したいと思います。今話題となっています部活動の地域移行ですが、現時点で地域移行されている部活動はあるのでしょうか。

**○松本学校教育課長**

地域の方に来ていただいてボランティアで指導いただいている例はありますが、部活動として地域と連携しているという例は、現時点ではありません。

**○大下教育長**

他にございませんでしょうか。ないようですので、報告として承りました。

**報告第 66 号 令和 4 年度 市立公民館・地区公民館・青少年会館まつりについて**

**○大下教育長**

報告第 66 号について、説明をお願いします。

**○井出生涯学習課長**

報告第 66 号につきましては、令和 4 年度 市立公民館・地区公民館・青少年会館まつりについてです。

ここ 2 年はコロナ禍で開催しておりませんでした。今年は開催します。目的は、公民館を利用する活動団体等が、日頃の学習活動の成果の発表・展示の場として、また、団体相互及び地域との交流の場として、来場者に生涯学習のきっかけを提供する場として開催します。

内容は別紙のとおりです。周知は広報きしわだ 10 月号、市のホームページに掲載予定です。

**○大下教育長**

本件について、何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。

**○植原教育長職務代理者**

感染対策はどのようにされるのでしょうか。

**○井出生涯学習課長**

新型コロナウイルス感染症地方対応創生臨時交付金を活用した、非接触型の体温計を館の入口に設置しています。また手指消毒用の消毒薬も設置しています。入場制限などはせず開催予定です。

**○谷口委員**

大芝地区公民館の記載で「購入券を配布」と記載されていますが、何が買えるとは書かれていませんがどのような内容でしょうか。

**○井出生涯学習課長**

館内の飲食や遊興スペースを活用するのに、展示などの店舗を回ってスタンプを集めることで購入券を得られるという工夫をしています。

**○谷口委員**

他公民館でもそのような取組があるのでしょうか。

#### ○牟田生涯学習部長

コロナ禍もあり例年どおりとまでは戻っていませんが、例年ですと地域から提供された花の苗などの購入券を配布するなど、他でも類似の取組が見受けられました。

#### ○谷口委員

健康推進課の健康管理事業でもポイント制度をうまく活用した事業がありました。賛否はあるかもしれませんが、活気づける策として工夫されていていいのではないかと思います。他の館にもそのノウハウを伝えていくこともいいかなと思います。

#### ○大下教育長

資料の各地区公民館での催し一覧の記載にばらつきがあります。本紙を用いて情報提供されるなら、時間のみの記載ではなく、催しの内容がわかるような記載をするようお願いいたします。

飲食を伴う場合は、会場内で食べるのであればパーテーション設置等の対応をいただくようお願いいたします。

他にございませんでしょうか。ないようですので、報告として承りました。

### 報告第 67 号 令和 4 年度 市民プールの利用状況について

#### ○大下教育長

報告第 67 号について、説明をお願いします。

#### ○庄司スポーツ振興課長

報告第 67 号につきましては、令和 4 年度 市民プールの利用状況についてです。

今年度は、10 ヶ所の市民プールを開設し、学校水泳授業が 6 月から始まり、7 月 21 日から 8 月 11 日まで是一般開放を行いました。

別紙 1 は、5 年間の 1 日の平均利用者数となっております。上段は平日及び土曜日で午後から、日曜祝日は 10 時から 17 時までとなっております。プールによって、利用者数に差がありますが、全体的に人数は少なく、十分なスペースを確保し利用できている感じでした。また、別紙 2 を見ていただきますと、合計利用者数ですが、令和 4 年度は 6,682 人で、平成 28 年度は 21,436 人です。先ほどの 1 日平均は同じくらいですが、開設日数が違うため合計に差があります。

別紙 3、別紙 4 は、団体の利用者数で、平日、土曜日の午前中が団体利用となっております。例えば、保育所とか、子ども会とかです。

特に今年はコロナ禍での開設でしたので、ロッカーに扇風機を設置したりしました。また暑い日が続きましたので、監視員の中には体調を崩されたり、コロナの感染拡大による急な人員不足もありましたが、他のプールから応援にきてもらい対応をしました。

#### ○大下教育長

本件について、何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。

別紙 3 の令和 4 年度と令和元年度の比較ですが、開放期間の異なりには触れず、総利用人数だけが記載されています。公表する際は工夫をするようお願いいたします。

#### ○野口委員

学校や子ども会以外では、どのような団体の利用がありますか。

#### ○庄司スポーツ振興課長

障害者団体や、スポーツクラブの方が貸切ってレクリエーションで利用されています。

○大下教育長

他にございませんでしょうか。ないようですので、報告として承りました。

報告第 68 号 令和 4 年度 初心者水泳教室の実施状況について

○大下教育長

報告第 68 号について、説明をお願いします。

○庄司スポーツ振興課長

報告第 68 号につきましては、令和 4 年度 初心者水泳教室の実施状況についてです。

前期は、山直北、浜、八木北の 3 プール、後期は、朝陽、太田、桜台の計 6 プールで実施しました。資料 1 は、各プール、年度ごとの参加数です。合計 349 人と令和元年度より約 100 人減少しています。資料 2 は、最終の泳力テスト結果です。25m クロールで泳げた方は、282 人中 25 人で、8.9%です。前回は 15.4%ですので、率が下がっています。特に 4 年生に差がありますが、2 年間実施しておりませんので、これまでの継続性がなかったのが大きな理由と思われる。また 349 人の申し込みで、最終日が 282 人と減少していますが、コロナの感染拡大により途中でキャンセルした方々、最終日だけ参加できなかった方々がおられたという状況です。

○大下教育長

本件について、何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。

○植原教育長職務代理者

前期だけをみても、申込は 171 名ありますがテストを受けたのは 139 名と減っています。30 名近くは途中キャンセルされたか、テストを受けられなかったということでしょうか。

○庄司スポーツ振興課長

コロナの影響が大きく、今回は毎日のようにキャンセルの連絡が入っていました。

○牟田生涯学習部長

申込をしたものの、コロナの感染拡大状況をみて、やめておくという方が多くおられました。

○大下教育長

他にございませんでしょうか。ないようですので、報告として承りました。

報告第 69 号 岸和田城天守閣の特別展開催について

○大下教育長

報告第 69 号について、説明をお願いします。

○西村郷土文化課長

報告第 69 号につきましては、岸和田城天守閣の特別展開催についてです。

展示名は「岸和田と岡部家—岸和田の礎を築いた岡部家の変遷をたどる—」です。会期は令和 4 年 10 月 1 日（土）から令和 5 年 2 月 12 日（日）です。会場は岸和田城天守閣 2 階展示室です。

趣旨は市政施行 100 周年記念事業としての特別展です。現在の静岡県藤枝市である岡部郷を本拠地とする武士であった岡部家が、寛永 17 年（1640 年）に岸和田藩となるまでにたどってきた地域や資料を紹介します。1 階の岸和田藩主となってからの岡部家の展示に加え、岸和田

藩主となるまでの岡部家の軌跡を、本拠地である現在の藤枝市のほか岡部家が最初に藩主となった現在の千葉県野田市など各地域から資料をお借りし展示するものです。これらの資料は岸和田から遠方であるためなかなか見る機会がないかと思います。また各市で指定文化財となっている資料もあります。貴重な資料が数多く展示されますので、是非ご覧いただき、岡部家を身近に感じ本市の歴史や文化への興味関心を高めていただけたらと思っています。

主な展示資料としては、岡部氏諸役免許状写、岡部長盛肖像画、岡部常慶寄進状他 27 点です。周知方法としては広報きしわだ9月号、市HP、ポスター・チラシ配布ですが、配布先は通常の市の公共施設以外に府内市町村や市内商業施設、府外協力機関へも配布します。あと報道提供も行います。また、図録も作成し販売します。会期中の行事予定として、1階に展示されていて昨年クラウドファンディングで修理をした岡部家ゆかりの木造阿弥陀如来坐像に関する講座や市民対象の展示解説などを計画しています。

資料として、2枚目にチラシ、その裏には展示目録を掲載させていただいています。藤枝市、野田市、桑山神社は亀岡市、天寧寺は福知山市、瑞巖寺は岐阜県の揖斐川町であり、各地域からお借りしたものです。そのうちの3点を次の資料として紹介させていただいています。また説明文を付けさせていただきました。まず岸和田藩岡部家の紹介をさせていただきます。岸和田藩岡部家は駿河国岡部郷（静岡県藤枝市）を発祥とする氏族です。戦国時代には今川家、武田家に、武田家滅亡後は徳川家に仕えました。徳川家康の関東入国に伴い、岡部郷を離れ下総国山崎（千葉県野田市）を任された岡部氏は、その後、譜代大名として丹波国亀山（京都府亀岡市）、丹波国福知山（京都府福知山）、美濃国大垣（岐阜県大垣市）、播磨国龍野（兵庫県たつの市）、摂津国高槻（大阪府高槻市）を経て岸和田の藩主となります。資料ですが、一つ目は、岡部氏諸役免許状写です。慶長3年（1598）3月21日 興風図書館所蔵（千葉県野田市）の資料です。初代藩主宣勝の父である長盛の兄とされる康綱、その後を継いだ弟の長盛が下総国山崎を支配していた頃の資料です。「成年より辰年迄、諸役免許之事、不可有違乱者也 仍如件 慶長三年戊 三月廿一日 野田 大屋淡路 渡辺豊前 山崎惣七郎」と書かれています。発給者が「野田」としかないので、康綱か長盛のどちらであるかは不明ですが、野田を居住地としていた岡部氏が慶長3年から同9年（1604年）まで、諸役（年貢等農民が負担する役）を免除したことがわかります。免除の対象地域については、包紙に「原本は野田仲町の土屋久右衛門という人物が所持している」と書かれていることから、野田郷に出されたものだと考えられます。次に、岡部長盛肖像画 江戸時代 瑞巖寺所蔵（岐阜県揖斐郡揖斐川町）の資料です。江戸時代に描かれた長盛の肖像画です。初代岸和田藩主宣勝の父です。豊臣秀吉と徳川家康・織田信雄連合軍が戦った小牧長久手の戦い（天正13年（1584年））や、徳川氏が信州（長野県）の真田氏を攻めた第一次上田合戦に参戦した武将です。下総国山崎、丹波国亀山、丹波国福知山に続き美濃国大垣に転封され、寛永9年（1632年）に大垣の地で亡くなりました。のちに瑞巖寺（岐阜県揖斐郡揖斐川町）に葬られ、本肖像画が伝わっています。瑞巖寺の境内には長盛の墓があります。三つめは岡部常慶寄進状 天文17年（1548年）7月2日、岸和田市教育委員会所蔵資料です。岡部常慶は初代藩主宣勝の曾祖父にあたる岡部久綱のことで、久綱は今川氏親・氏輝・義元に仕え、特に義元の代には側近として重用された重臣であったと考えられています。出家後に常慶と名乗りました。この文書は、久綱が仕えていた今川家の菩提寺である増善寺（静岡県静岡市）に寺領や仏具などを寄進したもので、紙面の左端には今川義元の花押

があります。

○大下教育長

説明が終わりました。本件について、何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。

○野口委員

岸和田市内にある泉光寺には岡部家のお墓があります。特別展の会場に、写真パネルなどの展示があれば、岸和田藩主代々の墓があることをより市民の方に知っていただけたらと思います。

○西村郷土文化課長

お墓は市の指定文化財となっています。100周年の記念冊子に指定文化財を記載しますので、お墓の写真や説明文も掲載予定です。

○大下教育長

お墓の件は泉光寺さんの許可も必要となりますし追加展示が可能かご検討下さい。  
他にいかがでしょうか。ないようですので、報告として承りました。

報告第 70 号 きしわだ自然資料館の臨時休館について

○大下教育長

報告第 70 号について、説明をお願いします。

○西村郷土文化課長

報告第 70 号につきましては、きしわだ自然資料館の臨時休館についてです。

きしわだ自然資料館は、特別展「岸和田市の海と山と人・100 年の物語」の開催準備のため、令和 4 年 10 月 26 日（水）、27 日（木）、28 日（金）に臨時休館します。根拠条例は、きしわだ自然資料館条例施行規則（平成 7 年教育委員会規則第 8 号）第 2 条第 4 項です。周知方法は、広報きしわだや市 HP に掲載します。

この特別展は、令和 4 年 10 月 29 日（土）から 1 月 15 日（日）まで開催するもので、岸和田市域の地形模型ジオラマを中心に展示します。詳細は来月報告させていただきます。

あと、参加方法ですが、昨年度は無観客で実施しました。今年度は有観客で実施しますが、コロナ感染拡大防止のため入場者数を 500 席中 217 名に制限します。また、来られない方々のため昨年度と同様、テレビ岸和田ウェブサイト、Youtube で当日生配信を行います。記録保存としては、当課のホームページに第 34 回濱田青陵賞のページを作成し、そこから Youtube に移行し、いつでも視聴できるようにします。資料は事前に郷土文化課 HP に掲載します。これを機会に、是非視聴いただき考古学に触れていただきたいと思います。とっております。

○大下教育長

説明が終わりました。本件について、何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。  
ないようですので、報告として承りました。  
報告は以上ですが、他にありませんか。  
ないようですので、議案の審議に移ります。

---

議案第 38 号 令和 4 年度 岸和田市教育委員会表彰の被表彰者等の決定について

○大下教育長

議案第 38 号について、説明をお願いします。

## ○井上総務課長

議案第 38 号につきましては、令和 4 年度 岸和田市教育委員会表彰の被表彰者等の決定についてです。

今年も、11 月 3 日、文化の日の祝典において表彰しようとするものです。別紙②岸和田市教育委員会表彰規則第 2 条から第 4 条に該当する、学校医等の永年勤務や教職員の教育研究論文の特選、入選、文化・スポーツ大会での府大会以上の最優秀賞や優勝した個人や団体等に表彰状を、また、規則第 8 条により感謝状を贈呈します。感謝状の対象者については、別紙③表彰規則内規の 7 に列挙しています。

該当者の案は別紙①のとおりです。

なお、今回の表彰者は団体 11 名、個人 73 名、感謝状贈呈者は個人 40 名となっています。

今年度は、表彰者については、スポーツ関連の表彰者の数が昨年、一昨年と比べ増加しており、ほぼコロナ前に戻ってきています。感謝状については、各種団体の改選の時期等の関係により少なくなっています。なお、教育・体育の振興に寄与されたということでコロナの影響は受けていないと思われます。

## ○大下教育長

説明が終わりました。本件について、何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。ないようですので、原案のとおり承認することとします。

## 議案第 39 号 補正予算について（事業費補正）

### ○大下教育長

議案第 39 号について、説明をお願いします。

### ○橋本図書館長

議案第 39 号につきましては、補正予算について（事業費補正）についてです。

ご寄附をいただきましたので、令和 4 年第 4 回定例市議会に歳入・歳出補正予算を審議いただくものです。

ご寄附をいただきましたのは、一般財団法人永井熊七記念財団様で、図書購入費として、令和 4 年 9 月 2 日に現金 100 万円をご寄附いただきました。

今回のご寄附も含め、永井熊七記念財団様からは昭和 51 年より、図書館に対してほぼ毎年ご寄附をいただいております。寄附総額は累計でおおよそ 4,600 万円、購入させていただいた本は、昨年度までの累計でおおよそ 15,000 点になります。

### ○大下教育長

説明が終わりました。本件について、何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。ないようですので、原案のとおり承認することとします。

以上で、公開の案件は終了しました。

次に、非公開の案件の審議に入ります。関係者以外は退席願います。

## 議案第 40 号 図書館基本計画の策定について

(非公開議案について審議され、承認された。)



議案第 41 号 教職員人事について

(非公開議案について審議され、承認された。)

○大下教育長

以上で全ての案件が終了しましたが、他に何かございませんか。

ないようですので、これもちまして本日の定例教育委員会会議を閉会します。

閉会 午後 4 時 37 分

本会議録に相違ないことを認め署名する。

教育長

署名委員